



# 優しく遅く

令和 8年 1月 27日  
市川市立第六中学校  
校長 河合 滋



## いじめは許しません！

最近、いじめの動画がネット上に拡散される事態が起きています。そもそもいじめは犯罪行為で、あってはならないことですが、SNSにアップしたことで取り返しのつかない大きな問題になっています。

六中では全校生徒に対して、緊急に注意喚起をします。生徒指導主任が作成したパワーポイントを視聴して、いじめやSNSの危険について考える機会を持ちます。

学校目標にあるように、「やさしく、たくましい人」に成長してほしいです。六中では、『暴言・暴力ゼロ宣言』を昨年より掲げています。

いじめの動画をSNSで拡散するとどうなるか、考えましょう。



市川六中では、  
**暴言・暴力ゼロ宣言**

を掲げています。  
子ども同士、子どもと先生など、  
どのような関係でも、いかなる場合  
でも、暴言や暴力は絶対いけませ  
ん！



## ルールを守る（自転車安全教室）



1月8日に、市川警察署 交通安全課による自転車交通安全教室を実施しました。1年生は自転車走行のルール説明を聞いて、先生による実演を見学しました。最近、中学生による自転車事故が増えており、事故を起こした際の責任も重くなっています。

日頃、使用する機会の多い自転車ですが、自分が傷つくのみならず、他人を傷つける凶器にもなりえます。一人ひとりがルールを守ることで、安全に通行できることを改めて学びました。



## 思春期講演会



1月23日に、助産師の小路先生の講演会を開催しました。性とは体の性、心の性、対象の性、外見の性、など多様である(SOGI)というお話や、思春期の体の変化などをわかりやすく説明してくださいました。

自分という人間がこの世に生まれてくる確率は440兆分の1だそうです。自分の命を大切にすることはもちろん、新たな命を大事にすることも教えていただきました。



# 学校評価アンケート（後期）



2学期末に学校評価アンケートを実施しました。今回は約77%の保護者の方から回答をいただきました。この結果を、今後の学校経営に活かすとともに次年度の重点目標等に反映していきます。

今後も学校ホームページ等で情報発信に努め、保護者が直接来校できる機会を多くしてまいります。引き続き、本校の教育活動をご理解、ご協力をお願いします。

## 令和7年度 学校評価アンケート

※回答 4:そう思う 3:ややそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない

令和7年12月実施

評価項目	肯定的意見（4+3の割合）						
	生徒		保護者		教職員		考察
	6月	12月	6月	12月	6月	12月	
1 友だちの良いところを見つけることができる。	96%	95%	89%	89%	84%	85%	他者に关心を持ち、多様性を認め合う指導が浸透してきている。
2 目標を持って学習したり、生活したりしている。	80%	78%	71%	67%	90%	74%	年度初めの目標だけでなく、短期目標を持たせ、修正しながら過ごすよう指導していく。
3 調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいる。	68%	69%	57%	60%	71%	67%	主体的に取り組む態度を養う指導を続けていく。AIを上手に活用する力を身に付けさせたい。
4 日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしている。	46%	52%	29%	33%	68%	63%	朝読書は毎日取り組んでいる。授業での図書館活用を引き続き、進めていく。
5 日々の学習で、タブレットを活用している。（4：ほぼ毎日 3：週2～3日 2：週1日 1：していない）	66%	32%	24%	26%	55%	44%	認識の差はあるが、活用の頻度が少ない。教職員の授業研究に取り組んでいく。
6 日頃から運動やスポーツに親しんでいる。	73%	70%	75%	67%	90%	85%	運動部活動や習い事などで、スポーツに親しんでいる生徒が多い。
7 給食では、栄養やマナーなどを意識して食べている。	81%	79%	81%	83%	65%	74%	給食時はマナーよく食べており、残食率は平均10%弱である。
8 学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がある。	25%	35%	78%	80%	81%	85%	大人と生徒との認識の差がある。職場体験やボランティア活動で地域とのかかわりを続けていく。
9 困ったことがあった時に相談できる先生がいる。	78%	77%	65%	69%	81%	63%	日常の相談に加え、定期的な教育相談期間を年に3回設け、生活アンケートも3回取っている。
10 学校の活動では、体験（見る、聞く、触れる）や交流が取り入れられていると思う。	77%	79%	72%	83%	90%	85%	授業や課外活動で体験的な活動を取り入れることを推奨している。
独自 学んだ知識や技能を活用して、発表したり表現したりする機会はある。	84%	85%	/	/	94%	85%	生徒が学んだことをアウトプットする機会を増やすことに、学校全体で取り組んでいる。

※学校ホームページには、普段の学校の様子を発信しています。また、緊急時の連絡の手段として情報発信することもあります。表題上部のQRコードからご覧ください。

文責 校長